

鳥取県立鳥取東高等学校同窓会  
 東雲会京阪神支部会報●第5号  
 連絡先 岡田俊一(山脈12回)  
 神戸市垂水区神和台2-2-9

# 京阪神東雲

●懐かしい母校● ▼昭和11年ごろの校舎と桜。岩中健氏(柏葉11回)提供の卒業アルバムから。ユニークな体育館の屋根を葺いた銅板は現在の母校の正門で校名のプレートに埋め込まれている。

【高校時代の掲載可能な写真があれば編集係までお知らせください】



●平成13年度総会風景● ▼アウェーナ大阪で盛大に開催。山脈18回が当番幹事として担当。母校から土井新校長の挨拶があった。しゃんしゃん祭りの傘が持ち込まれ、踊りの輪が広がった。

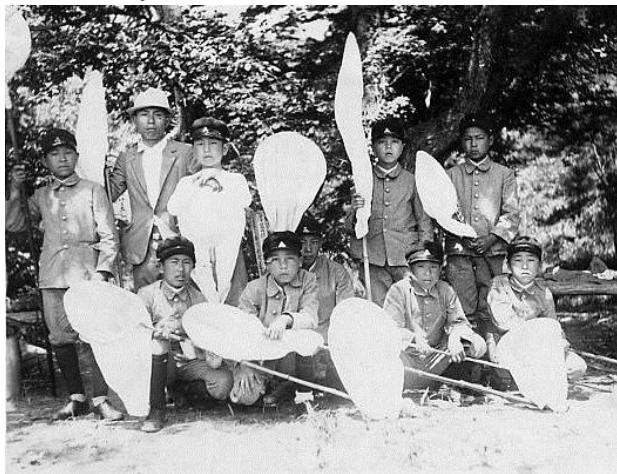


# 時の流れの中で

福原 利(柏葉 12回)

父は満鉄に勤めておりましたが転勤が多く私は幼稚園を旅順、小学校は大連で2校、安東で2校、長春で1校と転校し5校に通学しました。

中学は進学のこともあり鳥取の叔母宅から鳥取二中を受験しました。従兄と通学になりましたが身体が弱く、1、2年は体力造りに専念しました。先ず剣道部に入り上田二郎先輩に鍛えて貰いました。休日は理科の永見一男先生の御指導で昆虫採集に夢中になりました。



栗谷頂上で昆虫採集・昭和9年5月20日

当時の写真には田中満穂(海兵)岡崎道則(満機)と小生(陸士)の三人組が写っていました。御陰で身体の方は自信がつき始めました。

学業の方は1年から5年までの担任桜井馨先生には御心配を御掛けした事と思います。

3年後半より勉強の仕方も軌道に乗り、4年2学期より寄宿舎に入り、舎監の先生方の御指導を受け、受験勉強に専念出来たと思います。同室では後輩の柏葉15回佐伯修君、16回田中彬夫君と起居を共にしました。

部活は1~3年は剣道部、4年は文庫部。5年の時同級の藤田泰博・吉田隆彦の両君の勧誘で庭球(軟式)部に入部、1年下の中江賢太郎君とダブルスを組み先鋒を努めました。

当時は軍事色が強く、対外試合が少なくなり、練習試合で米子までの遠征に終り、松江との試合は中止になり残念でした。

受験勉強の折は田中・岡崎両兄に誘われ郊外を散策しながら勉強が出来た事は今でも両兄に感謝しております。

5年生の9月次より軍関係の受験が始まり11月に合格し諸兄と別れ各校に入学した次第です。

陸士に入学し地上部隊の歩兵の教育訓練を受けま

したが、卒業時航空部隊増強の為転科、(赤トンボ)の基本操縦後、戦技分科は戦闘機操縦の教育を受け修了。原隊に復帰し仙台・加古川で下士官学生、満州で特別操縦見習士官・少年飛行兵の操縦訓練に当りました。満州の部隊で経理担当に柏葉7回の奥田実様と一緒に驚き何かと大変御世話になりました。

終戦の前年の暮、陸軍戦闘機隊にメッカ三重県の明野飛校に戻り、戦闘機の操縦・新戦法の訓練に入り本土防衛の飛行部隊に在籍、本部付、中隊長補佐要員で終戦になりました。



終戦当時の明野マーク入りの5式戦闘機

終りに戦死された方々、戦中戦後に物故された方々の御冥福を心より御祈り申し上げます。

尚同窓生諸兄の御長寿・御健勝の祈願いたします。

# 忘れぬ思い出

盛田 和子(山脈 11回)

吉方橋を渡り天神川に沿って少し歩くと川向こうに樹々の間から心和む風景が広がっています。そこは国道29号線に近い鳥取市の袋川と天神川の中州に位置するところ、「うまのせばし」と書かれた橋の名を懐かしく思いながら42年ぶりに児童福祉施設

「鳥取こども学園」の建物の前にたった私は、昔の景色とはほど遠く今や「こども学園ワールド」とでも表現したい位に整備された一角になっていたのに驚きました。でも学園の前のこの土手を真っすぐ行けば昔と同じ我が母校、東高はもうすぐそこです。当時、東高2年生だった初夏の頃、美術部に席を置いていた私は夏休み後に開かれる東部高校美術展に出品する絵の画材を探していました。ある日の学校帰り、ふと目に止まったのが「こども学園」の窓の下に生い茂った「カンナの花」でした。あまり大きくない花壇でしたが赤い花と勢いのある大きな緑の葉が気に入り、すぐ構図が浮かんだのです。

早速スケッチブックを取り出して翌日、水彩で色づけしようと準備していた時のこと、突然、扉が開いて現園長のお母様が優しい笑顔で「お花を切って

あげましょうね」と鉢を手に出て来られ「カンナの花」を下の方からザクザクと切って4~5本持たせて下さったのです。その束の大きさにと戸惑いながら「有難うございます」というのが精一杯だったよう思います。それからは家で二週間くらいで30号の油絵を完成させました。

偶然にもその絵は「大丸文化賞」という賞を頂き、それが又どうした弾みか西高美術部顧問の松田先生を通じてこの絵を欲しいという方に貰われて行ったのです。その時、五千円の入ったお札の封筒を頂いたことをつい昨日の事のように思い出します。ずっと後になって、その絵は鳥取商工会議所の会議室に永い間飾られていたということを知りました。そんな事情で残念ながらその絵は私の手元にありませんが、東高時代の嬉しい想い出の一つです。「カンナの花」を気前よく切って下さったお札と受賞の報告にすぐに学園を訪ねなければと思いながら、照れくさかったのか機会を失いとうとう行かず終いました。



それからは、そのことが後悔の念として私の胸の中にいつも燻っておりました。そして永い年月が過ぎ今から十数年前の東高同窓会の折、同級生で「鳥取こども学園」の藤野興一氏から学園の実情や学園を維持してゆく為の救援の訴えを聞いたのです。その時、今ならこの私も少しならあの時恩返しが出来るかもとすぐ会員になりその後は毎年、僅かながら振り込ませていただいております。福祉で大切なことは“継続と存続”です。その御苦労は並大抵のことではないと思いますが、「鳥取こども学園」は昨年、創立90年を迎えたとのこと。そしてあの時、私には菩薩のように思えたお母様の藤野とり氏は昭和58年に亡くなられたこと等、散歩中、偶然出会った園長の藤野氏や、同敷地内にある自立援助ホーム「鳥取フレンド」でご夫婦で子供達を世話しておられる私のクラスメートの山中捷二氏と立ち話をしながら、いろいろお話を伺うことが出来ました。この五月の連休に帰省してふと思いつき寄ってみた思い出の場所に来て、実の親子が一緒に住んでいても殺伐とした事件が多い昨今の世相、せめて縁あってこの学園に身を寄せられている子供達には、いつも心に明るい希望を持って健康で楽しい毎日を過ごして頂きたいと心から願い学園を後にしました。

## 母校創立80周年 記念式典に参加して

京阪神東雲会会長  
上林 武夫(山脈10回)

今年も京阪神東雲会の総会を来る11月16日(土)に開催する運びとなりました。今回は山脈19回生の皆さんのが当番幹事で、張り切って準備に当たってくれます。皆さんお誘いあわせの上、多数ご参加くださるようお願い申し上げます。

さて、本年は我等が母校鳥取東高等学校の創立80周年の記念すべき年にあたり、去る6月23日(日)母校で記念式典が行われました。記念すべき式典に京阪神東雲会代表として私が参加の栄に浴しましたので簡単に当日の模様を報告したいと思います。

なお、母校・本部同窓会のご好意により、当京阪神東雲会の今年の総会参加者には80周年記念資料が配布されるほか、母校80周年の歩みがビデオ紹介されることになっております。その意味でも今年の総会には是非ご参加ください。

▼80周年記念式典

(写真提供・母校本部)



▼母校吹奏楽部の演奏



式典は鳥取県教育委員長外多数の来賓、1,200名在校生の参加のもと、格調高い土井校長の式辞に始まり来賓挨拶・祝辞が続き、参加者一同80年にわたる母校の歴史の重みを噛みしめたことでした。式典のあとの記念行事として毎日新聞社会部長・常田照雄氏(山脈18回)の講演、在校生吹奏楽部による公演がありました。同日夕方には記念祝賀会が開かれ、80周年の歩みがスライド紹介されたほか参会者一同の間で思い出話に花が咲きました。

式典や祝賀会でのスピーチで印象深かった点を紹介します。

鳥取東高校の前身である鳥取二中学校は、大正11年6月に設置許可をうけ、当事水産業で財をなしておられた徳田平市氏が多額の寄付をされて設立に協力、初代校長に迎えられたのが林重造先生で、同校長は建学の精神として「質実剛健、克治・寛容、親和・勤勉」を掲げ、「規律ある自由」を説かれました。徳田氏は、寄付をした趣旨に鑑み自らはもとより家族にも奢侈を戒めて多額の寄付金を完済されたというエピソードも松田元校長から披露され、思わず胸にこみ上げるものがありました。

初代林校長の説かれた建学精神、教育方針のうち、「質実剛健」、「規律ある自由」は昭和30年代前半に在学した私の実感としてはまさに東高の校風そのものであります。そのような校風が建学以来脈々として受け継がれた事実に今更ながら感慨深いものを感じます。恐らく皆さんも同じ思いでしょう。学生数の増加した今日でもこの伝統は受け継がれている由でご同慶の至りであります。

## 総会へ向けて拡大理事会

7月6日、ホテルアウイーナにて

拡大理事会を開催しました。当番幹事の井上秀正氏(山脈19回)のもとに準備案を検討しました。

議題は、①運営案の検討②平成14年度の「総会」について。総会は11月16日(土)に「グランド白楽天」(阪急グランドビル27階)で開催されます。午後2時から4時半までと、女性も参加しやすい時間に開始されます。



京阪神拡大幹事会で打ち合わせ

## 返信葉書(平成13年度)の 近況報告から

昨年いただいた会員諸兄姉の近況です。今年の総会に参加できない方は「短信欄」に是非とも近況をお書き下さい。1年遅れですが会員へ近況が伝わります。

\* \* \*

加齢で随所に故障発生していますが辛うじて低速運転で過ごしています。春の叙勲で勲五(瑞)を受賞しました。(柏葉8回/田中久文)◆30年余り勤めた教職をリタイアしました。大病もしましたが、大阪府税をたっぷり使った卒業生の一人として、社会活動させて頂くのは義務と思っております。従って国連のFAOの支援、卒業生の経営する企業にも求められて勤めています。社会の弱い立場の人々へ物心両面の援助させて頂いて居ります。どうか、会員の皆さんのお上に福音がありますように。(山2回/田見恵美子)◆元気で生活しています。「町づくり協議会」「氣功」等に参加しています。鳥取に母が独居老人で居るので年に2~3回帰省しています。介護の世話になっています。(山3回/山根恒男)◆総会及び懇親会のご案内頂き有り難く感謝申し上げます。私ども既に卒業生のまさに「古代」に属する者、振り向けば貧しいけれども希望にあふれた古代高校生時代がそこにあるように思えます。私は三十年間「書道教室」で多くの「書道師範」の指導を続けて現在にいたっております。ご盛会を祈ります。(山3回/川岸美智子)◆年金生活になって数年、週2回学習のアシストをしています。後は、週1回の陶芸、演芸 etc。孫の世話(幼稚園、小学校、高校の文化祭)で忙しく過ごしています。(山4回/太田敏輔)◆関西在住者が世話人で10月23日に山脈5回生の同期会を舞子で致しました。私は現在、地域の小さなボランティアグループには入り自分でできるお手伝いをしたり65歳になってからコーラス部にも参加したり、友達の沢山いる幸せを満喫しています。ご盛会を祈ります。(山5回/森本珠美)◆ヘルパー二級の資格を取得しましたので健康を武器にして、これから10年間を目標に頑張っています。ストレス解消は野球を観ながら艶歌を聞きながら、文庫本を読みながらのひとり酒の楽しい日々を過ごしています。(山6回/中村智子)◆読売新聞社の定年退職後、勤めた甲子園学院も引退し日々好日(?)の暮らしです。去る5月、大学時代の友人と青春の頃、夢見たスイスアルプス、ウィーンを巡りました。とくにウィーンでは名画『第三の男』の舞台を訪ね、



“末広映劇”（昔あった鳥取の映画館）での感動を思い出し納得でした。追伸：第4号の会報にあった倉恒さんの「臨海学校あれこれ。」昭和27年も東浜でありわれわれも参加しました。念のため。

（山6回/平野行信）◆返事が遅れ申し訳ございません。この度は大変ありがとうございます。最近ボケ防止に習いたいというお母様方や高校生

（長年続けている）にピアノを教えながら私も楽しんでいます。いつまで続けられますとか。

（山6回/古荘信子）◆皆さんお元気ですか？小学生はいたって元気です。今日はちょっとした野暮用で欠席します。趣味はPC、ゴルフ、体力維持、週4回フィットネスジム、ボランティア、地域活動（自治会）など、毎日忙しく過ごしています。

（山7回/河上裕）◆メールにはまっています。総会案内などメールですれば安上がりにしかも簡単になると思う。一考を！（山7回/丹松克男）◆6年間駐在のタイより帰国。1年半たちましたが、お陰様で元気に過ごしています。（山7回/富本恭太郎）◆定年退職後3年は食品コンサルタントのような仕事をしています。現役時代の経験を生かして新しい“味”を研究しています。ラーメンスープをはじめとするスープ類及びそれに必要な素材の開発等。（山8回/石橋貞明）◆定年退職後第二の勤務に出て交通事故相談員として頑張っております。週に1回は少年剣道の指導に努め良い汗を一杯流しております。元気一杯です。

（山10回/博田譲二）◆阪神淡路大震災以来、地域振興ボランティア活動中です。地域に支えられ学ばせて頂いています。懇親会当日は地域フォーラム実施予定日です。企画運営をしています。

（山11回/園田政子）◆来年は60歳。還暦を迎える自分でも一年一年を感じる今日この頃ですが、自分なりにいろいろな事に興味を示しボランティア、旅行、美味しい物の食べ歩き等沢山のお友達にも恵まれ幸せに過ごしています。（山12回/横田英子）◆山脈18回当番幹事の皆様方、この度は大変ごくろうさまです。ご連絡ありがとうございました。

ざいました。介護の仕事に携わっている為、盆も土曜日も日曜日も関係無く働いております。なかなか休みをもらえないでおります。（山13回/山下幸子）◆山の小さな小学校に勤務しています。鳥取の田舎を思いだして楽しく過ごしています。退職まであと8年余。元気で働くことに感謝の日々！いつの日か皆様にお会いできる日を楽しみにしています。（山19回/横山ひとみ）◆今、中国上海にあります。1月に帰国予定です。（山22回/林順二）◆小学校の教師を辞めて早3年生…子どもの方も少し大きくなり手が離れてきたので昼間だけNPO法人に所属し、ボランティア活動をしております。主に老人宅の家事手伝いなど。少しでも社会のためになればと思っております。（山34回/岡森美智子）

## ホームページで交流を

### 『京阪神東雲の窓』

同窓生の交流を目的に、ホームページを作成しています。Urlは次の通りです。

<http://www.asahi-net.or.jp/~hf3s-okd/higashi/index.htm>

会報の感想や同窓会情報など、会員の皆さんの気楽な情報交換の場としてご利用下さい。

運営者 岡田(MAIL SDI00397@nifty.ne.jp)

## 古代東高 思い出シリーズ

—創立当時の東高祭—

### 第五回

倉恒 貞夫

(本部同窓会副会長・山脈3回)

今年第53回東高祭が、祝創立80周年記念と銘打って、7月12日～14日の3日間行われました。近頃の東高祭は体育大会も含めて、3日間で行われるようです。

第1日は、昔の家政高校（今の鳥取女子高校）の前にできた県民文化会館を借りて、弁論、外部講演、筝曲、吹奏楽、演劇、各クラスの合唱コンクールを行い、また展示室ではクラブ展示が行われました。（美術、書道、写真、華道）第2日は学校でファッション、ミュージックファクトリー、アトラクション、カラオケ大会、模擬店。同時にクラブの展示。（科学、写真、部落解放研、英語、文芸、家庭）また、今年にかぎって生徒

会特別企画の鳥取東高歴史展示—写真でつづる八十年のあゆみを第3日まで第2体育館で。第3日は体育祭。もっとも、このごろは、シンボル(張子)を作っても、それに火をつけて(ファイヤーストームをするために)燃やすことができなくなり、時に紙を剥がして火をつけて燃やしたりしてみましたが、結局、現在では作らないことになりました。しかし、今年は特別に、生徒会執行部が一つ作ったようです。

東高の日程は昭和50年ごろには、体育祭も含めて二日半。(第1日目の午前中は授業をして正午開会式)というスタイルでした。日程の長さにいろいろ余余曲折もあったようです。しかし、東高祭はどんな日程でもその時代の生徒の情熱の盛り上がりであり、青春の花開き、そして生命が煌いていた眩いばかりの一瞬ではなかつたでしょうか。

それでは、創立当事の東高祭を思い出してみたいと思います。—こんなことができたのか!

#### 昭和24年(1949年)

『第一回秋季大運動会は、10月9日(日)第二グランドで開かれた。生徒を中心とした運動会準備委員会によって、準備、練習に日々重ねてきたが、天候が悪化、ついに午後1時半中止された』『鳥取東高創立記念行事としての文化祭は、生徒を中心として合同協議会で決定した。一週間ぐらいにまとめて、校舎別にやることが、9月の職員会議で決められていた。』

#### 第一回東高祭日程 <東高校記念文化祭>

11月4日 学術発表会(第一校舎講堂)

11月5日 演劇、舞踏発表会(〃)

11月6日 弁論大会、音楽会(第二校舎)

#### この期間中展覧会(第一、二校舎)

『初年度のこととで若干の準備不十分な点はまぬかれ得ず、次年度に於いて最も盛大となつた。』

(創立五十周年記念誌より)

#### 昭和25年(1950年)

#### 第二回東高祭日程

10月8日 大運動会 於工業科グランド  
10月9日 祝賀提灯行列  
10月10日 音楽会 於工業科講堂  
10月11日 弁論大会、研究発表会、映画  
於普通科講堂  
10月12日 演劇発表会 於工業科講堂  
10月13日 コート開き庭球・排球大会  
於普通科コート  
拳闘試合 於工業科講堂

10月10日～12日 文化祭展覧会 於工業科校舎  
12月上旬 農業祭 於農業科校舎  
全期間中バザーあり。

昭和25年10月8日付の東高学園新聞(10号)をどういうわけか小生が持っているのでこれを参考にして諸行事を思い出しながら紹介してみます。

#### 10月7日 運動会前日。

『宣伝隊は新装なったトラックに乗って7日午後3時、楽隊のリズムに合わせながら市中行進し新聞部特報の

ビラ、又学校当局の宣伝ビラをまき大声で口々に叫びながらその宣伝につとめた。続いて午後四時から第二回の宣伝隊を繰り出し校歌を唱いながらトラックで市内を廻りビラをまきその宣伝につとめた。』(東高学園新聞記事より)

#### 10月8日 大運動会、於工業科グランド。

国道の入口には、門をかまえ、杉の葉で飾った緑門が作られた。校舎のあちこちには、大猩、3米以上の大キリン、山羊など次々に現れ、(我々2Bの大虎は普通科から皆でかつて運びこみました。)会場には満艦飾の小旗が思い思いのものが準備され張られていました。

『愈々当日を迎えるや運動会気分はいやが上にも場内に漲り、その歓声は遠く久松山麓にこだました。昔を偲ぶ大井川の渡し競争、器械体操、吉田首相、山田のバーチャン出現の似顔絵、二重円の平和音頭、集団体操、等々。実に五十に余る体育絵巻は全校(普通科、工業科、農業科)を挙げて



の喜びと楽しみの交響樂の中に滞りなく遂行され会場狭しと集う幾千人に恐らくそれぞれの角度より深き印象と感銘を与えたことと思う。』(運動会を顧みて、体育教官室。「提携」創刊号より)

運動会終了後は自然発的にファイヤーストームがそれぞれの張子の下で行われました。

『天をこがさんばかりの大火を燃やし』一張子だけでなく、かなりの校庭周辺のゴミを燃やしてあたりをきれいにしたようです。フォークダンスの練習などありませんでしたから、ただ皆で火を囲み、デカンショ節、ノーエ節、応援歌、などをくり返し歌ったようです。



担任のM先生は『あんたらあは、酒も飲まずにようやんさるなあ!!』運動会には、M先生の奥さん、小さい子供さんお二人とも一緒に、ハリコの虎の前で記念写真をとっています。女物の着物を着たりタスキを掛けたりしている級友もいます。だんだん盛り上がって来て歌ったり踊ったり先生方を胴上げしてまわったり運動会の夜の興奮はなかなかつきることがありませんでした。

### 10月9日 東高祭、前夜祭、祝賀提灯行列。

『工業科、機械科の誇りとしている自動車を繰り出して、宣伝に当たり10時、1時、4時の三回に渡って仮装した人々を多数のせ日本海新聞特別奉仕の宣伝ビラをまき、男生徒のフラダンスや、女装チャップリン、寛一お宮の外に多数くり出して大々的宣伝にあたる』

『盛大に開かれる東高祭を少しでも多くの人々に見てもらう為涉外宣伝係では本校所有のトラック二台を仮飾(花電車)市中を宣伝して回ることに決定しその威力が大いに期待される。』

### 走るぞ トラック花自動車

『東高祭が目前にせまり両車共出品すべく先生、生徒は土・日曜も出校し徹夜の日々など、夜風が身にしむ月光りの下での修理も続けられている車はフォードの1932年型四気筒であるが乗り心地は上々のことだ。第二車はニッサン製2600。1940年型六気筒で俗にドンビキ型と称され、戦時中大活躍したもので・・・。』

夜は提灯行列。先頭はトラック、楽隊について、全校生徒の提灯行列。男生徒、女生徒共ローソクを三本くらい持って末広通り、駅前、智頭街道、若桜街道、大工町通りなどを練り歩いた』

### 10月10日 音楽会、工業科講堂

音楽部(七十余名)の大合唱団が主で、モーツアルトのグローリア、オペラローレライより抜粋、その他、3時間の大合唱。その他のルームの合唱団の発表。

### 10月11日

○弁論大会 参加人数二十数名。これは東部地区大会出場をかけての一戦。大会中に放送式討論会。

「個性と社会生活」がテーマ。9~12時の3時間。一人7分。○研究発表 人文科学部門「意志論」、自然科学部門「サビの研究」「空気中の微生物の培養」「日本海新聞活字及び自作品の研究について」など。○映画上映 映画部のCIE 映画上映。普通科講堂。

### 10月12日 東高祭、4日目。

○演劇発表会 於工業科講堂。

『竜の落とし子』普通科2A。原作真船豊。演出郡孝幸(1時間)、「ヴィーナス」普通科2B。演出塩川彰。主演倉恒貞夫(1時間)、「ポール氏とマリー嬢」普通科3C。原作3C/演劇部「マクベス」シェークスピア原作。四大悲劇の一つ(二時間)、「蘇る面影」演出菊川(一時間半)/ダンス「青きドナウ」(6~7分)、「世界は一つ」世界平和・世界統合理念を描いたもの(20分)、「醜きアヒル」物語をダンス化したもの(15~20分)以上ダンス部。 演劇部はシェークスピアものを次々に手がけ発表し、県の演劇発表会でも常に上位を占めていた。

10月13日 東高祭、第5日目。コート開き、庭球・配給大会、普通科コート。

○拳闘大会。工業科講堂。当時は生徒間にも拳闘が盛んであって、厚手の兵隊用の手袋などを利用して休憩時間などボクシングシャドウなどもやっていていた。普通科の生徒控所にもリングが作られたり、ボクシング部も大活躍で、モスキート級の選手権を全国大会で取ってきたといわれていた。

10月10~12日 文化祭展覧会(11クラブで、その外映画部上映会のCIE 映画上映会が11日に行われた)3日間、普通科講堂。

○社研展。社会研究部。古墳のパノラマ、出土品の展示、統計教室(生徒の学校生活の統計(読書、思想、小遣いなど)、鳥取市在住人口の移動状態など)。○新聞展 新聞発行までの行程。日本海新聞社、日の丸印刷等の協力による種々の実物の展示。○工芸展 山、川、大都会のパノラマを自在にかけ廻る種々の電車、電気自動車。○美術展

出展数80点、洋画12点。日本画7点、水彩画60点。一般作品とクラブ員の作品。○短歌展 部員の短歌作品を一人五首あて展示。鳥取市内の短歌グループよりの代表歌人3人に出品してもらう。中央有名歌人の短冊を展示。有名歌集多数展示。



○書道展 出品は本校部員は勿論、連盟を通じて西高、家政高、八頭高、市内四中学にも。○写真展 部として生まれて間もないクラブでクラブ員も少ないが作品30点。○華道展 ただ単に花を活けるだけを目的とするのではなく、若い人達にピッタリ合った意義のある作品を出品する。○図書展 10月9日より6日間図書室で行う。特に製本の順序について解り易く展示。○茶道展 腕自慢の茶道部ではこの機会にと全神経をただ「お茶」に集中させている。○園芸部 園芸クラブは当季節の花ダリアを中心とした展覧会で近郊で集められ得るダリア品種を網羅して生けるダリア図鑑ともいべきものを示す。会場は北校舎東階段下の音楽室○映画展 世論調査を基準に学生と映画の関係をグラフで示すなど。

展示会場は、全校の教室を使用。机、椅子を片付けていった。新聞、美術など一つのクラブで教室を2から3も使うものがあった。

学校祭準備には、当時五日制であったから(本校は昭和31年まで五日制であった)土、日はもちろん、時には早朝、あるいは夜遅くまで、時には学校に泊まって作業をした。

展示会の二、三日前ごろからは、女子生徒もかなり学校に泊まった。茶道部、華道部の女子の生徒が畳のある部屋に泊まっていて、そこへ、生物の標本のガイコツを持って、おどかしに侵入した男子数名が、女性軍に迎え撃たれて、ほうほうの体で逃げ出したこともあった。又、夜泊まって仕事をする生徒のために全校に呼びかけてサツマイモを持って来させ、——それが玄関に入ったところに、ムシロをひろげて置いてあり、勝手に自由にもらって行ってバケツで火を焚いて、焼いて夜食にした。——木造の校舎の中で、バケツで火を焚いたのだから?! これらは、生徒各自、クラブ又は生徒会各自の責任で、先生方の巡視だとか、干渉だとかあったおぼえがない。

東高祭の企画、立案、実行などは、三校舎全体の生徒会、又は、各校舎の自治会にまかされ、その責任で行った感じであった。ほとんど生徒会主体という感じで行動していたようである。

### 東高祭バザー

10月8日より東高祭バザー。これが自治会運営資金獲得を目指して行われる。昨年は、各クラブ資金カンパのために濫立したが、自治会の名で統合開催することになった。

家庭科クラブの女生徒50名が従事。運動会当日は校庭に三ヶ所売店を開き、講堂の半分に紅白の幕を張って食堂部分と調理部分とした。

バザー券は一枚20円。うどん、ライスカレー、コーヒー(ケーキ付)、その他ラムネ、アメ、菓子、パンなど。

他の期間中は校舎毎に食堂を置き(普通科は9ルーム)、近くに売店を設けた。

普通科グランドの庭球、排球コートの整地はこの後も続き、生徒の手で土入れ、ならしなどを続けられたが、次年度東高祭近く9月10日、1年D組が松保村で土取り作業中土砂崩れが発生、生徒3名が生き埋めとなり、うち一名死亡の事が起つた。このため、哀悼の意を表すため自治会生徒会は運動会・東高祭を中止した。

そしてこの年の予選会は、二日間行った。

### 会費(寄付)ご協力のお願い

本年度も京阪神東雲会運営費として会員の皆様に年次会費(寄付)一口1,000円の出捐をお願いしております。総会に参加される方からは、当日参加費用に含めて会費を頂きます。昨年は当日参加の方々を含めて500名に上る多数の方々からご協力を得ました。厚く御礼申し上げます。因みに本年7月6日現在の会費残高が553,058円となっております。会費(寄付)振込先は次の通りです。(会長 上林武夫・会計幹事 中原修市)

郵便振込「口座番号 00940-2-133540

加入者名 京阪神東雲会」

### ●編集後記●

母校も創立80周年記念を無事に挙行しました。ますます栄える母校ですが、ぜひともこの会報で甲子園出場特集を組みたいというのが編集者の夢でもあります。倉恒先生のライフワークでもある古代東高の連載もいよいよ佳境に入っています。諸兄姉の投稿で内容のある会報にしたいと思います。

今回もカットは山崎氏(山12回生)にお願いしました。(お)